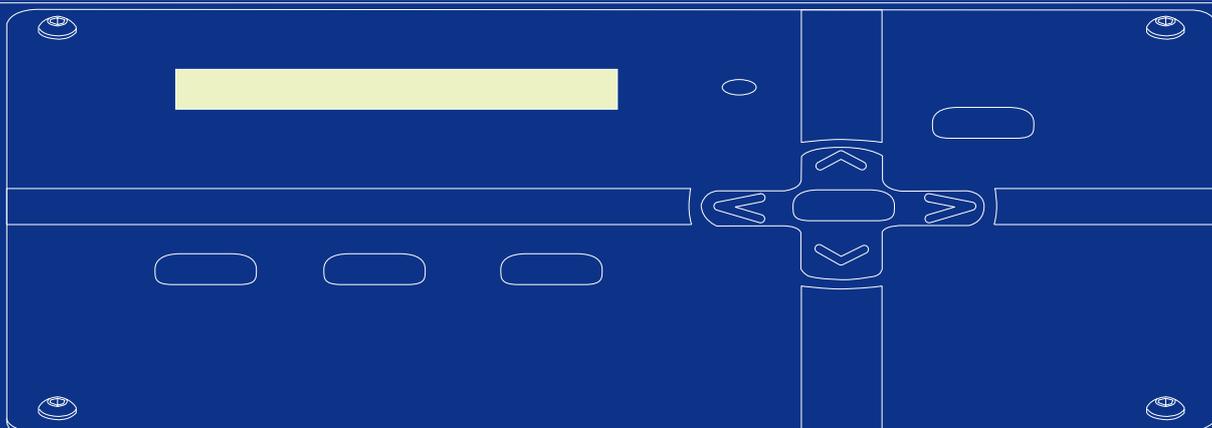


この確認方法で 大丈夫ですか？

測定結果をデータ化 パソコンで活用できます



# PTT-100の機能

シール強度測定器

シール強度を設定した条件で測定。  
測定データはパソコンを利用して  
維持・管理できます。



PTT-100の名称は  
Peel Tensile Tester 100N  
と言う意味から付称しました。

<b>POINT 1</b> 軽量・コンパクト	<b>POINT 2</b> 低価格	<b>POINT 3</b> 簡単操作	<b>POINT 4</b> PCでデータ管理
小型で軽量ですので持ち運びが簡単に行えます。	プラスチックフィルム専用ですので、一般的なシール強度測定器と比較して低価格です。	簡単な操作で測定ができますので、専門的な知識は不要です。	USB接続でパソコンへデータを転送し、専用ソフトでデータを維持管理できます。

## 測定器を使わないシール強度の測定・・・



測定器を使用しないシール強度の測定は

- ・シール片を人が手で引っ張り確認する
- ・シールチェッカー（浸透液）で漏れがないか確認する

と言う「人間の都度の感覚に頼る」方法が主流でした。しかし、包装への高い信頼性を求める社会的な背景からシールの確実性、信頼性がより高く求められています。

## ■ プラスチックフィルムに特化した測定器



より高いシールの信頼性を求められるお客様の声にお応えすべく、高額となりがちな測定器から必要な機能だけを抽出し、簡単な操作でお使いいただけるプラスチックフィルムに特化した“シール強度測定器”を開発いたしました。

富士インパルスシーラーは、インパルスシール方式を採用し加熱・冷却工程を持つことでシール強度の高いシーリングを実現することが可能ですが、加えてPTT-100を併せてお使いいただくことで、より一層シールの信頼性を高めていただけると考えています。

## ■ パソコンと連携し、測定データを活用



PTT-100とパソコンをUSBケーブルで接続し、収集した測定データを転送し、管理することができます。

測定データ管理アプリケーションソフト『PTT-Master(製品に付属)』を使用して、パソコンでデータの維持・管理を行うことができます。

## ■ 便利な機能を多数装備

PTT-100は便利に、簡単にお使いいただけるよう、以下のような機能を備えています。

- 複数の試験パターンをあらかじめ最大5件まで登録できます。また、試験条件や判定基準の異なる試験片で測定する場合の設定条件の変更を簡単に行うことができます。

例) PATTERN1

チャック間距離	: 25 mm
引っ張り速度	: 300 mm/min
試験終了判定	: AUTO
判定条件 MAX	: U 100 L 00

- 始業時などに簡単に測定機能を点検できる「日常点検機能」を搭載します。
- 測定の終わりを自動判定し、1列、2列シール以外の複雑なシール面測定にも対応します。手動での測定も可能です。
- 試験カウンターを表示。サンプル数が多い場合の識別に大変便利にご利用いただけます。

# PTT-100の使い方

シール強度測定器

簡単操作でシール強度を測定。  
保存した測定データを  
パソコンへUSB接続で転送し、  
専用ソフトでデータを活用できます。

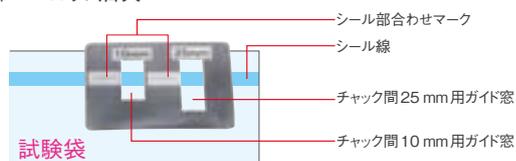


## 1 シール強度測定用 試験片 を作成

製品付属の『フィルムカット治具』で簡単に試験片を作成し、シール強度の測定を行うことができます。

シール強度を測定したい試験袋にフィルムカット治具を重ねて治具のガイド窓に沿ってカッターなどで切り、測定用試験片を作成します。

### ■ フィルムカット治具



## 2 SET UP ボタン を押す

コントロールパネルの“SET UP ボタン”を押します。

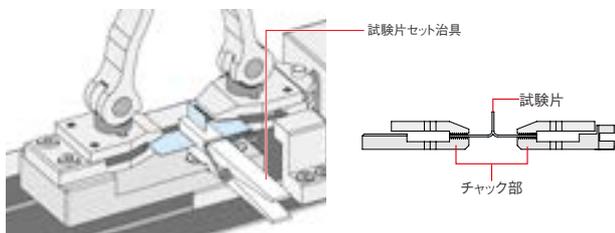
PTT-100 上部の“チャック部”が設定した試験片の間隔に自動でセットされます。



## 3 試験片 をセット

作成した試験片をPTT-100 上部の“チャック部”に挟み込み固定します。PTT-100 付属品の『試験片セット治具』を使用すると容易に“チャック部”へ挟み込み固定することができます。

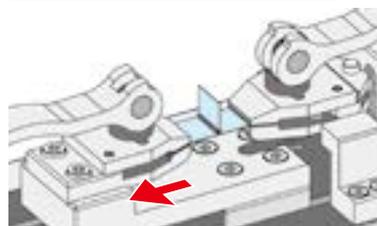
### ■ 試験片セット治具



## 4 START ボタン を押して測定開始

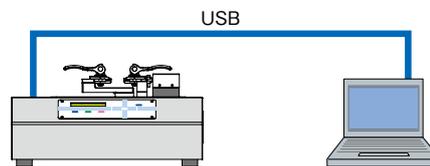
コントロールパネルの“START ボタン”を押すと製品正面から見て左側のチャック部が左に移動し、フィルムを引っ張り、シール強度を測定します。

測定したシール強度データはPTT-100の内部メモリに保存されます。※



※ PTT-100とパソコンを接続したまま測定を行うと、測定毎にデータが転送されます。

## 5 パソコンと USB 接続し、データを転送



『USBケーブル(製品に付属)』でパソコンとPTT-100を接続します。製品付属のアプリケーションソフト『PTT-Master』をパソコンで起動させ、測定データを転送したり、保存、維持・管理することができます。

測定データ管理アプリケーションソフト『PTT-Master』は、測定したデータをパソコン画面上でグラフ表示や表形式表示し、データの維持・管理を行うことができます。

また、『PTT-Master』は同じ試験サンプルを複数検査する場合などに重宝する「平均値」「最小値」「標準偏差」等を表示する機能を備えています。

転送される「シール強度測定記録データの明細」は次ページの「主な仕様」をご覧ください。

## ■ 主な仕様



測定レンジ	100 N
計測単位	荷重単位：N(ニュートン) 変位量単位：mm
最小表示桁	0.1 N
引っ張り速度	200 mm/min または 300 mm/min
測定精度	±0.4 % of FULL SCALE
データ出力	USB ポートよりデータ出力、専用管理ソフト“PTT-Master”附属
内部メモリ容量	最大記録データ件数=120件
使用温度範囲/湿度範囲	+ 5 ~ 40 °C / 30 ~ 80 %RH
電源 / 消費電力	AC100 V 50/60Hz / 9 W
外形寸法	幅364 x 奥行260 x 高さ198 mm
質量	約8 kg
対応規格	ASTM規格 (F88-00) で要求されるシール強度測定方法に準拠

PTT-100は通常、弊社受注後出荷までの期間が2週間の製品(準標準品A)です。

### ■ シール強度測定記録データの明細

1. 試験日、時刻
2. 最大引っ張り力、平均値
3. エラー番号
4. 登録した作業者名(8文字まで)
5. 引っ張り力(シール強度)データ

### ■ 主な使用用途

1. 食品の包装現場  
 ボイル、レトルト殺菌などを行う前のピックアップ検査。
2. 医療の包装現場  
 オートクレープ(高温・高圧下)で滅菌処理を行う前の滅菌バッグのシール強度検査。
3. 製袋工場  
 袋が適正シール強度で製袋加工されているかシール強度検査を行い、ロット毎にデータ管理を行う。

## ■ 商品構成



- ① PTT-100 本体
- ② USBケーブル
- ③ データ管理ソフト; PTT-Master CD-ROM
- ④ フィルムカット治具
- ⑤ 試験片セット治具(2種類)

### ■ データ管理アプリケーションソフト PTT-Master

- 対応機種:  
 USB2.0/1.1インターフェイスを装備し、Windows® Vista/7/8/8.1/10 が動作するPC/AT 互換機。

## ■ オプション

- フィルムカット用2連ハサミ  
 試験片の作成が容易に行えます。15 mm幅カット専用です。



- ① シールしたフィルムを2連ハサミで15 mm幅にカットします。



- ② 通常のハサミで試験片に適した長さ(高さ)でカットして試験片を作成します。



**富士インパルス** 富士インパルス株式会社  
 富士インパルス販売株式会社  
<https://www.fujiimpulse.co.jp/>



富士インパルス販売株式会社

本店 東日本ショールーム 修理アフターサービスのお問い合わせ  
 〒270-0163 千葉県流山市南流山2-27-6 TEL. (04)7178-6402 FAX. (04)7150-0905

大阪支店 西日本ショールーム  
 〒561-0834 大阪府豊中市庄内栄町4-23-18 TEL. (06)6335-1234 FAX. (06)6335-5719  
 修理アフターサービスのお問い合わせ TEL. (06)6335-1546 FAX. (06)6335-5537

福岡営業所 福岡ショールーム  
 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2-3-42 TEL. (092)589-5530 FAX. (092)589-5540

総販売元 三井物産プラスチック株式会社

### ■ 取扱特約店

本カタログの表示は改良のためお知らせせずに変更することがあります  
 消耗品は富士インパルス純正品をお使いいただけますようお願いいたします